

外国語活動・外国語研修会

平成30年8月16日（木）実施

対象：外国語活動担当者又は第5・6学年担任、英語科教員（各校1名）及び希望教職員

研修Ⅰ「新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりの在り方」

講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 直山 木綿子 教科調査官



新学習指導要領 外国語教育において大切にしていること

1 英語は、勉強することが目的ではなく目的達成のための手段である

英語を勉強することが目的ではなく、「英語を使って何ができるようになるか」が大事であり、「英語を使って何かを実現するために学ぶ」ということである。

(1) 外国語活動では「～するようにする」⇒外国語（教科）では「～できるようにする」に

5つの領域別の目標 ー抜粋ー		
小学校第3学年及び第4学年 外国語活動「～するようにする」	小学校第5学年及び第6学年 外国語科	中学校 外国語科
	「～できるようにする」に	
	教科	

高等学校へ

(2) 音声で十分慣れ親しむようにする

- ① 高学年では、既習表現が使えるようにするために、帯活動として「Small Talk」を実施する
 - ・ 指導者と子ども、子ども同士のやりとりとして2時間に1回程度設定する。
 - ・ 話題（トピック）について、既習語句や表現を繰り返し活用して対話を続ける活動を行う。

② 【Let's Listen】や【Let's Watch and Think】の進め方

音声を聞いたり、映像を視聴したりする前に、挿絵や写真について教師が児童と英語でやりとりをしながら、理解につながるように工夫する。

(3) 「書くこと」の指導について（第5学年及び第6学年）

① 文字の指導について

アルファベットの太文字、小文字を活字体で書くことができるようにする

小学校1年生でひらがなを学習する際に、「く、つ、し」などの一画の文字から始めるように、Aから教える必要はなく、アルファベットの簡単な文字から指導するなど、弾力的に工夫する。子どもベースでのカリキュラムづくりをしていただきたい。



指導する順番の工夫例

〈大文字〉

- ① AHIMYVXW…左右対称文字
- ② TFNLKEZ…直線でできた文字
- ③ GDBOJCPSQUR…曲線でできた文字

〈小文字〉

- ① cosvwxyz…大文字と同じ形の文字
- ② aeumnr, it…一階建て文字、中二階建て文字
- ③ fhkl, gjy…二階建て文字、地下一階建て文字
- ④ bdpq…間違えやすい文字

※ 又は、子どもの名前の中の頭文字で多い文字から指導する。

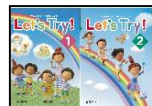
② 語句や表現について【小学校第5学年及び第6学年】

「書くこと」については、「語順を意識しながら音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すこと」や「例文を参考に、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くこと」ができるようにすることが求められている。

2 小学校から高等学校までの外国語教育に見通しをもつ

(1) 新教材について ー第3,4学年「Let's Try!」、第5,6学年「We Can!」ー

今回の新教材では、自分の考えや気持ちを伝え合う活動を大事にしており、本当のことを言わない「ゲーム」等の活動を減らしている。現在の第5,6学年は、第3,4学年の時に外国語活動の授業を受けていないため、「Hi, friends!」の内容（「We Can!」の後ろに収録）を学習してから取り組んでほしい。



(2) 小学校・中学校・高等学校の連携を

平成31年度から平成35年度の5年間では、授業時数や内容など、異なる経験にある児童が中学校に入学してくることとなる。そのため、小学校は校区の中学校に、「何をどのように学習してきたか」を確実に伝えることが重要である。一方、中学校は、小学校の授業内容について知ることが大事であり、外国語教育に関する教材等が文部科学省のウェブサイトでも公開されているので、見ていただきたい。そして、小学校・中学校・高等学校と連携を図ってほしい。

研修Ⅱ A「新教材を使った授業づくり 一円滑な接続に向けた外国語活動 中学年一」

講師：鳴門教育大学小学校教育センター 佐藤 美智子 准教授



音声で十分に慣れ親しむことはもちろんのこと、音声以外の情報も大切！場面の中で言語を獲得することが多い



マッチングゲームの様子

2 単元計画をしっかりと立てること

小3-Unit7

単元名 This is for you.

～カードをおくろう～

※ 相手と目的意識をもってカードを作る！

単元計画（全5時間）各時間の目標

第1時 日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、形や身の回りの物を表す言い方を知る。

※ 子どもに合った導入を考えること

例1 わざとぼやかしたアミューズメントパークの写真を見せて「What's this?」の表現を使った遊園地に関するクイズから入る方法。

例2 単元ゴールの活動で使う「形」の絵本から入る方法。

第2時 形の言い方に慣れ親しむとともに、欲しいものを表す表現を知る。

第3時 色や形、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

第4時 欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合う。

第5時 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。

場面設定・動機付け

ゴール

目標に向けた単元・授業設計・活動

- ◆ 最終ゴールの明確化
- ◆ 逆算した授業設計
- ◆ スモールステップ
- ◆ PDCAサイクル

1 授業設計で学級担任に求められる力

テキストなど

ALT
地域人材

歌・
ゲーム等

児童の生活・他教科との関連・児童の実態 等

マネジメント力

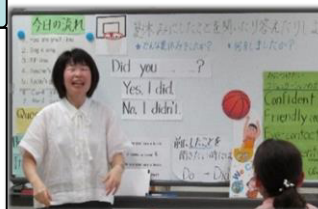
素材をどう料理するか
(言語材料をどう組み立てるか)

研修Ⅱ B「新教材を使った授業づくり 一円滑な接続に向けた外国語活動 高学年一」

講師：高知市立義務教育学校土佐山学舎 川越 美和 教諭

1 教科「外国語科」のよりよい学習を目指して

- ・ 英語を使って積極的に人と関わろうとする児童・生徒を増やす
- ・ 外国語活動と中学校英語をつなぐ役目を意識する
- ・ どんな力を身に付けるのか、目標を児童と指導者が共有する（単元学習メニュー）
- ・ 異学年や外国の方との交流活動を積極的に行う
- ・ 1～4年生までの外国語活動を充実させる
- ・ 新しい教材と今までやってきたことを融合させる（指導内容・指導方法）
- ・ 指導者の英語力を磨く→Almost Englishを目指す→英語力向上のための校内研修



2 毎時間の授業をどう組み立てるのか

- ① How are you ? Time
- ② Sing a song
- ③ PPT（パワーポイント）
- ④ Teacher's talk
- ⑤ Card game
- ⑥ Activity
- ⑦ Comment Time

- ① 「How are you ?」に加えて既習表現を使って、もう一つ質問し合う
- ② CDを使ったり、時にはCDなしで歌う
- ③ 既習の表現をスライドに合わせて声に出して言う（復習）
- ④ 複数の指導者が2分程度の会話をする
(単元や季節に関係のある事柄についてクイズ等で質問する)
- ⑤ 表現への慣れ親しみを目標とし、ペアを中心に行う
- ⑥ 「話す・聞く活動」→「読む・書き写す活動」(慣れ親しんだ表現)
- ⑦ 振り返りカードを記入した後、ペアで日付、曜日、天気、今日の目標の達成度を尋ね合う

学級担任とALTの役割が入った学習指導案例(市教委アレンジ版)もあります

「小学校外国語教育関連資料」

年間指導計画例、新教材データ、ワークシート、絵カード（125%拡大版）、学習指導案例などを掲載「学校ファイルサーバ」→「全員共有フォルダ」→「H30学校教育課」にあります

【受講者の感想】

- ・ 小学校外国語活動と外国語科の目標の違いを再確認するとともに、小学校中学年及び高学年から中学校接続連携を踏まえた中・高学年の授業づくりの要点を学ぶことができた。特にSmall TalkやStory Timeの扱い方について学ぶことができたので、自校に持ち帰り、先生方と共有したい。
- ・ 小学校でどのような力を付けて新入生が入学してくるかを理解したうえで、授業づくりを行っていくことが大切だと感じた。先日、小中連携の合同研修の中で、Small TalkやChatを小中で一緒にやっていくことになった。定期的に会をもち、成果を確認しながらやっていこうと思う。

ご意見・ご感想を高知市教育研究所 教職員研修班までお寄せください。